

東光原

Newsletter



附属図書館公認キャラクター「くまぼん」

Kumamoto University Central Library

Learning Commons

ラーニング
コモンズって何?

熊本大学附属図書館へ
ようこそ!!



ほくくまぼん!!



中央館のオススメは
ラーニングコモンズだよ!



Collaboration



Discussion

熊本大学のラーニングコモンズは、自ら学ぶ熊大生のための空間です。
グループ学習・ディスカッション・様々なコラボレーションの場としてご活用ください。
アクティブエリアは予約不要です。学内無線LANによるインターネット接続が可能です。



Events / Presentation

グループ学修室(3室)にはプロジェクターとスクリーンを完備しています。
インターネットで予約してご利用ください。レファレンスデスクでは、平日16-19時に
大学院生スタッフの図書館ティーチング・アシスタントが学修相談に応じます。



Teaching Assistant

ラーニングコモンズって
こんなところ!!

第8回東光原文学賞 受賞作品発表

平成28年1月15日に第8回東光原文学賞の受賞者発表がありました。第8回目「東光原文学賞」は、残念ながら【大賞】の該当作品がありませんでしたが、14編の応募作品の中から4編が【優秀賞】に選ばれました。

【優秀賞】

- 🌸 「海の泡に消える」 黒瀬 優 (PN) (工学部3年)
- 🌸 「君の部屋」 伊藤 祥太 (文学部4年)
- 🌸 「リグレット」 佐藤 稿介 (文学部1年)
- 🌸 「天空楽園 Y is N's doppelgänger.」 眉口 心一 (PN) (工学部4年)

◎作品は冊子で発行されました。図書館にて無料配布中！
◎図書館ホームページからも見ることができます
http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award



第8回東光原文学賞 受賞者からのメッセージ

黒瀬 優さん (作品 海の泡に消える)

- Q. 小説を書き始めたきっかけは何でしょうか？
- A. 高校の時、友人が書いていて興味を持った。それで真似して書いてみたというのがきっかけです。
- Q. 読者へおすすめしたい本を教えてください。
- A. 星新一のショートショート
- Q. おすすめする理由を簡単に教えてください。
- A. 書き手の視点で読んでみるとアイディアの質、特に数には驚くと思います。
- Q. これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。
- A. その文は自分が書きたいから書くのか、ストーリーの質が高まるから書くのかを客観的に分けて考えて下さい。これが最も簡単で重要なことかと思っています。自分が面白い物と他人が面白い物は別です。正直に感想を言ってくれる友人でも作れば、自身の作品にどれ程の無駄があるか痛感できると思います。まずは他人から評価をされるような小説を意識することからでしょうか。しかし、やはり一番は執筆を楽しむことです。私も好きな事だけ書いているわけではありませんが、それはそれで楽しんでいます。
- Q. その他、伝えたい事などありましたらお願いします。
- A. 今回、少女が主人公の話を作る事になり、どうせなら女の子になりきって書こうと思いました。表彰式の時に作者が女性だと思っていたと言われた事は結構嬉しかったですね。

伊藤 祥太さん (作品 君の部屋)

- Q. 小説を書き始めたきっかけは何でしょうか？
- A. 小説を初めて書いたのは小学生のときでした。国語の授業で物語を創る授業があり、僕が書いたのより三倍ほど長くて五倍くらい面白い小説を書いた女の子がいて、それよりも面白い小説を書いてやろうと思ったのがきっかけです。
- Q. 読者へおすすめしたい本と理由を簡単に教えてください。
- A. おすすめの本は、有名どころですが、綿矢りさの『蹴りたい背中』です。小説というのは、誰かを刺すために、あるいは誰かを救うために存在していると思います。『蹴りたい背中』は僕に刺さったし、救われました。最近読んだ本では、本谷有希子の『生きてるだけで、愛』もおすすめです。
- Q. これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイス、その他、伝えたい事などありましたらお願いします。
- A. 東光原文学賞に応募したい方は、とりあえず書いてみるといいと思います。読むのは、まあ二の次で。実は今回の作品は、全く別の二作品を、締め切り数日前に強引に合体させたものです。小さな小説の欠片のようなものを書き溜めしていると、いつかそれが繋がる時が来ます。しっかりプロットを練って書くのもいいですが、全然書けないという方は、まずは何でもいいので書いてみましょう。好きな言葉を手帳に殴り書きするだけでもいいと思います。

佐藤 稿介さん (作品 リグレット)

Q. 小説を書き始めたきっかけは何でしょうか？

A. 中学生の頃から活字に触れることが多くなって、ただの情報にすぎない文字によって心を動かすことができる凄さに感動し、自分にもそれができないかなあと思ったのがきっかけです。実は今回の作品はちょうど文字を書き始めた初期のもので、少し手直したものです。時間の都合などのせいで、徹夜つらい。

Q. 読者へおすすめしたい本と理由を簡単に教えてください。

A. おすすめというか、好きな本は夏目漱石の『吾輩は猫である』です。ですが、正直人によって合う本合わない本というのは必ずあると思うので、その本のタイトルやあらすじを見て、好きそうだなと思えたらすぐに読むことをおすすめします。食い物だって、好きなものだけ食べるのがいちばん幸せですし。

Q. これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

A. ぜひ応募してください！ 一度生まれた物語は、例外なく誰かに触れてもらう権利があると僕は思ってます。

Q. その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

A. 自分の勝手な考えなのですが、小説を書くというのは沢山本を読んだり才能ありきと思われがちだと僕は思っています。持論ですがそんなことはありません。その証拠に僕は言うほど本は読みません。文章も拙いんです。文章を書くのが好きだからやってるんです。だから小説なんてちょっとの言語能力と自身の考える、ありえたかもしれない世界があればすぐ書けます。誰も『どこかの世界で、こんなことが起こった』と夢想したことがあると思います。そんな世界を、自分の頭の中だけに閉じ込めずにカタチにしてあげてください。難しいことなんて考えなくていいんです。ここは違う世界のことを考えること、小説を書くってそんな簡単で、素敵なことだと思っています。

眉口 心一さん

(作品 「天空樂園 Y is N's doppelgänger.」)

Q. 小説を書き始めたきっかけは何でしょうか？

A. あまり覚えていませんが、恐らく本当に最初のきっかけは、「これなら自分でも作れるんじゃないか」と思う作品を読んだことです。実際は全く違いましたが、一番初めは、そのような軽い気持ちで書いたと思います。

Q. 読者へおすすめしたい本を教えてください。

A. 高校時代の国語の教科書です。

Q. おすすめする理由を簡単に教えてください。

A. とっつきにくい文学作品でも、「一度学習した経験がある」という自信が読み込むモチベーションに繋がると思うからです。

Q. これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスをお願いします。

A. まだまだ未熟ですが、出来るだけ「書きたいもの」ではなく「読みたいもの」を書くように努めたつもりです。初めはそれだと書いていてつまらないなと思いましたが、書き終わった時の達成感は後者のほうが何倍もありました。

Q. その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

A. 多分、自分の作品は、未だ「これなら自分でも作れるんじゃないか」という作品ですので、「じゃあ俺でも文学賞とれるわ!」という意気込みで書いてみて、送ってみてはいかがでしょうか？

受賞者のみなさん、どうもありがとうございました。受賞を惜しくも逃した10人のみなさん、ご応募ありがとうございました！東光原文学賞は今年も開催します。随時図書館を✓(チェック)！

ダイナマイト新歓協賛！ 2大企画開催

○脱出ゲーム「くまぼんからの挑戦状」～楽しくゲームしながら図書館内を探検しよう！～

4月5日(火)～4月12日(火)

附属図書館中央館に閉じ込められた・あなたは図書館公認キャラクター「くまぼん」からの5つの謎を解いて、見事脱出できるか？誰でも参加可能です。見事脱出に成功したら、レファレンスデスクにて図書館グッズをプレゼント。ご参加お待ちしております。

○『Spring Book Fair(スプリングブックフェア)』

3月29日(火)～4月26日(火)

新入生におすすめの本を多数展示！大学生に必要なレポート作成や、新生活で役立つ料理本、大学生生活ナビ、ついでに旅行も・など様々な本が勢ぞろい。同時開催で、先輩方が選書した本もおすすめポップとともに展示します。全て貸出可能ですので、ぜひ手にとってみてください。

楽しみながら図書館内を探検しよう
脱出ゲーム
くまぼんからの挑戦状

日時 2016年 4/5(火) - 4/12(火)

うち平日の 13:00～19:00

受付場所 附属図書館中央館
【レファレンスデスク】

参加対象 どなたでも

附属図書館 中央館。ここは実りある大学生活を送る
多くの秘密が隠れている。秘密をさらにこぼれさせた者は、

新入生のみなさまへ

附属図書館長 山尾敏孝

皆さん、熊本大学へのご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。

さて、熊本大学附属図書館は、蔵書数約130万冊、所蔵雑誌約2万種類を有し、年間述べ55万人が利用する大規模な図書館です。黒髪北キャンパスにあるガラス張りの建物が中央館です。また、医学部や附属病院がある本荘・九品寺地区に医学系分館、薬学部がある大江地区には薬学部分館があります。中央館の建物の1階のフロアは「ラーニングcommons」と呼ばれ、グループ学習や討論、プレゼンテーションの練習、友人同士で会話しながらの学修ができる「動」のスペースです。また、飲食が可能な場や読書や研究で疲れたとき、ひと息入れることができる「リフレッシュルーム」もあります。一方、2階フロアは従来の図書館と同様に静かに一人で研究や学習に取り組める「静」かなスペースで、なかには、「スーパーサイレントルーム」と呼ばれる部屋もあります。さらにパソコンも1階と2階に合わせて88台設置してあります。半地下階には「多目的ラウンジ」、地下1・2階は書庫で、「蓄」（保存）のスペースとして、多くの図書や雑誌を配架しています。また、本館は阿蘇家文書や細川家北岡文庫（公益財団法人永青文庫から寄託）など、数多くの貴重な史料も所蔵しており国の重要文化財もあります。



図書館の具体的な利用方法は、別途、配布します小冊子「附属図書館利用案内2016年版」に詳しく記載されていますので、こちらをご覧ください。大学での学修は、自ら学び、自ら課題を設定しそれを追求する方法やプロセスを修得するものです。図書館は、そのような学生の皆さんの勉強を最大限にお手伝いし、支援することを最大の使命としています。皆さんがこの図書館を授業に部活やサークル活動あるいは試験勉強などで大いに活用し、学生生活をさらに充実させましょう。

「肥後熊本学コーナー」

を南棟に設置します！

熊本大学では、「地（知）の拠点整備事業」および「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」の採択に伴い、地域の学びの導入科目として「肥後熊本学」という科目が必修となります。図書館でもその授業と連動し、科目担当の先生方の推薦のほか、熊本に関連した資料をそろえたコーナーを設置します。



場所は 南棟1階の奥になります。「熊本」の歴史や地理、夏目漱石やハーンなどの縁の人々についてもっと知ってみませんか？

